

米国環境保護庁  
ワシントン D.C.20460

大気放射局

2012年6月19日

ENERGY STAR コンピュータパートナーまたは他の関係者各位：

米国環境保護庁（EPA）は、適合に関する明確な指示を確実に提供するために ENERGY STAR コンピュータ基準バージョン 5.2 に対する追加説明が必要とされる、ワークステーション市場における大きな変化を認知した。本書は、追加説明案を提示し、本案に対する関係者意見を求めるものである。意見は、考慮されるために **2012年7月3日までに提出**しなければならない。

グラフィックス処理技術の近年の発展は、より汎用的な計算の要求に GPU 能力を利用するコンピュータ製品の開発をもたらした。これら GPGPU は主にコンピュータサーバーやワークステーション製品で見られるものであり、周辺ハードウェアスロットにプラグ接続された拡張カードの使用を通じて、これらシステムの処理能力を強化することを目的としている。

市場においてこのような変化が生じる前に確定された ENERGY STAR コンピュータ基準バージョン 5.2 には、GPGPU 拡張カードに対処する規定が含まれていない。そのため EPA は、関係者の意見を得るために、以下の本基準に対する追加説明を提案する。

### コンピュータ基準バージョン 5.2 に対する追加説明案

本追加説明案は、ENERGY STAR コンピュータ基準バージョン 5.2 の第 4.2.1.iii 項に対する修正において反映されており、GPGPU を有するワークステーションが、既存のワークステーション製品群の要件のもと ENERGY STAR 適合の対象になることを明確にする。新規の文言は**太字**で示されている。

iii. ワークステーションまたはデスクトップの製品機種におけるワークステーション製品群（ファミリー）の適合については、その製品群において単一 GPU を有し最大の消費電力を示す製品構成が、代表モデルと見なされる。注記：単一グラフィックス装置を有して ENERGY STAR 要件を満たすワークステーションは、追加のグラフィックス装置**および/または GPGPU**を除き追加ハードウェア構成が同一である場合に、複数のグラフィックス装置を有する、**あるいは 1 つ以上の GPGPU 拡張カードを有する**構成も適合にすることができる。複数グラフィックスの用途には、複数ディスプレイの稼働、高性能複数 GPU 構成の連携動作配列（例：ATI Crossfire、NVIDIA SLI）が含まれるが、これらに限定されない。このような場合、SPECviewperf®が複数グラフィックススレッドに対応するようになるまで、製造事業者は、製品を再試験することなく、単一グラフィックス装置を有し **GPGPU カードを持たない**ワークステーションの試験データを届出することができる。

**GPGPU カードを使用する製品を含むワークステーション製品群（ファミリー）については、GPGPU カード無し、および単一カード搭載の両方において、アイドルおよび最大消費電力の試験をしなければならない。試験データは、ENERGY STAR 適合時に提出しなければならない。**

ワークステーションの GPGPU への対応は、ENERGY STAR コンピュータ基準バージョン 6.0 の策定において更に改良される必要がある。

EPAは、本説明案に関する関係者意見を歓迎する。**意見提出者は2012年7月3日までに意見を電子メールにて [computers@energystar.gov](mailto:computers@energystar.gov)宛に提出することが求められる。**意見を検討した後、EPAはENERGY STARウェブサイトにおいて関係者向けに本説明の確定版を公表する予定である。本提案に関する質問は直接 [Meyers.Robert@epa.gov](mailto:Meyers.Robert@epa.gov)宛に提出すること。

ENERGY STAR プログラムへの継続的な支援に感謝する。

Sincerely,

Robert Meyers  
Product Manager, ENERGY STAR Computers